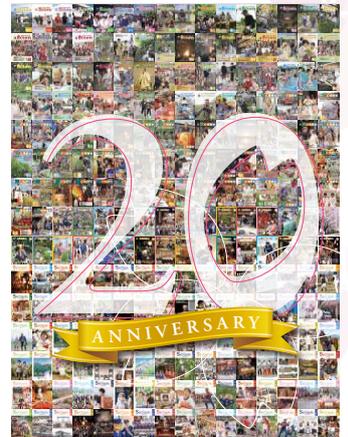


CONTENTS

- 02 市長挨拶・議長挨拶
- 03 桜川市のデータ
- 04 桜川市 20年のあゆみ
- 06 桜川市市制 20周年
お祝いメッセージ
- 08 桜川の四季

表紙



桜川市は、平成17年10月1日に岩瀬町、真壁町、大和村の3つの町村が合併して誕生し、令和7年10月1日に市制施行20周年を迎えました。表紙は、これまでに発行された広報さくらがわの歴代の表紙240枚を組み合わせで作成したものです。一つひとつの表紙からは、市民の皆さまとともに築いてきた桜川市の歴史を感じることができるものとなっています。

桜川市市制施行
20周年記念ロゴマーク



市の職員が作成したデザインの中から、市民の皆さまによる投票を実施し、投票数が最も多かった上記のデザインが『桜川市市制施行20周年記念ロゴマーク』として選ばれました。



桜川市長
おつか ひで 喜
大塚 秀喜

更なる発展への
スタート地点

桜川市は平成17年10月1日に岩瀬町、真壁町、大和村の合併により誕生し、桜川市として新たな歩みを進めてまいりました。市制施行20周年という節目を迎えることができましたのも、市民の皆さまの郷土への深い愛着とたゆまぬ努力の賜物であると心より感謝申し上げます。

この20年間、市では、市民の皆さまが安心して暮らせる、住みよさを実感できるまちを目指し、真壁伝承館や生涯学習センター「さくらす」の建設など公共施設の整備や、さくらがわ地域医療センターの開院などの医療体制の

整備、学校の統廃合やICT教育の充実による教育環境の整備など、様々な事業に取り組みでまいりました。

近年本市を取り巻く環境は大きく変化しています。少子高齢化や人口減少、地球温暖化による自然災害の激甚化や感染症などといった課題に向き合いながら、市民が安心して暮らせる環境を整えること、そして地域資源を活用した持続可能なまちづくりを進めることが求められています。

このような状況の中、本市では「ヤマザクラ」と市民の幸せが咲くまち「桜川」をまちの将来像に定め、6つの基本理念を掲げ、まちづくりを進めています。

市制施行20周年は、更なる発展へのスタート地点となります。先人たちが築き上げたものを再認識するとともに市民一人ひとりの個性が輝く桜川市を目指してさらに飛躍ができるよう取り組んでまいります。

今後とも本市のさらなる発展のためにより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



桜川市議会 議長
かぜの かずみ
風野 和視

20年の感謝と
新たな一歩を

桜川市が市制を施行してから、本年度20周年という節目の年を迎えました。市議会を代表し、心よりお祝いを申し上げますとともに、これまで市の発展のために尽力されてきた市民の皆様に、深く感謝申し上げます。

平成17年10月1日に2町1村が合併して「桜川市」が誕生し、新たな一歩を踏み出してから20年、市民一人ひとりのご協力のもと、数多くの課題に向き合い、幾多の試練を乗り越え、まちづくりを進めてまいりました。

この20年間を振り返りますと、東日本大震災や新型コロナウイルス感染

症、物価高の影響など多くの困難や課題に直面する中で、地域医療の充実、教育環境の整備、防災・減災への取り組み、インフラの整備など多岐にわたる分野で成果を上げてまいりました。市議会といたしましても、市民の声を受け止めながら、市政の健全な発展に寄与すべく議論を重ね、地域全体の未来を見据えて政策を後押ししてまいりました。議会改革にも取り組み、議員定数の削減、議会のICT化、本会議の映像配信など、より開かれた議会、信頼される議会を目指して日々努力を重ねてまいります。

これからの桜川市は、少子高齢化や人口減少、過疎といった課題の中で、地域の持つ資源と知恵を活かし、魅力をもさらに高めていくことが求められます。私たち市議会も持続可能な地域社会の構築に向けて全力で取り組んでまいります。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸、そして桜川市のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。